

学校全体の取り組み

授業規律について	① 指名されてから発言させる。 ② 「はい」は一回または黙って拳手をさせる。 ③ 指名されたら「はい・立つ・です」 ④ みんなに聞こえる声の大きさを発言させる。(声のものさしの活用) ⑤ 発言している人の方を向いて聞かせる。
持ち物について	① 4月に決めた物を持ってきているのかを探察、または点検する。そして、不要な物を持ってこさせない。 ② 机の横にたくさんの物をかけさせない。 ③ 道具をわすれたときには報告させる。
掲示について	① 教務から配布された資料に準ずる。
ノートについて	① 日付を書かせる。 ② 線を引くときは定規を使わせる。 ③ ノートの書き方を指導する。

評語	説	明
A	設定した目標を高度に達成した。	
B	設定した目標を概ね達成した。	
C	設定した目標を達成するには、もう一歩で	
D	設定した目標はほとんど未達成である。	

教科名	児童の実態	指導方法の改善と工夫	評価	
			2学期	3学期
2年	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○全クラスともに、関心意欲が高い。</p> <p>【発想・構想】</p> <p>○発想は児童によりまちまちである。お互いの刺激合いがもっとあると良い。</p> <p>【創造的技術】</p> <p>○個人差がある。道具の使い方に関して、個別支援が必要な児童がいる。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○このまま続けていけると良い、より集中力を高め持続できるように、題材を選びたい。良いね、ここところが良いね、と常に声に出して褒めるようにする。</p> <p>【発想・構想】</p> <p>○これは良いね、ここところが良いね、などよい発想や、思いの表れている作品をその都度紹介する。</p> <p>【創造的技術】</p> <p>○児童によっては基本的な技能を支援していく。カッターなど道具の使い方に関しては図版を使用するなどしてわかりやすく説明し、持ち方使い方など十分に練習させる。はさみの使い方も復習させる。</p>	B	B
	言語活動	<p>【鑑賞】</p> <p>○他者の良いところに気づく児童もいるが、なかなか自分の良さに気づきにくい児童もいる。</p>	<p>【鑑賞】</p> <p>○制作中や制作後に鑑賞の時間をとり、自分の良さや他の良さに気づかせる。</p>	B
3年生	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○関心・意欲・態度は高く、どの題材にも興味をもって積極的に取り組む児童が多い。</p> <p>【発想・構想】</p> <p>○自分なりに楽しくイメージをして、形に表そうと工夫することができる。</p> <p>○作品制作の進度に差が見られるので、遅れてしまう児童への声かけが必要である。</p> <p>【創造的技術】</p> <p>○道具や材料の使い方を正しく理解している児童が多いが、制作内容自体を理解していない児童が数人いる。周りの様子に合わせてやるべきことを把握している状態である。</p> <p>○個別に助言や指導が必要とする児童もいるため個別に支援が必要である。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○図工室の使い方、道具・用具の使い方を確認して、ルールを徹底していく。</p> <p>○制作が遅れがちな児童が苦手意識をもってしまわないように簡単な表現活動や造形遊びを経験させ、多様な表現に関心をもち、表現の面白さを感じることができるようしていきたい。</p> <p>○関心・意欲・態度ともに高いので今後もこのまま持続できるように題材や授業内容を工夫していきたい。</p> <p>【発想・構想】</p> <p>○幅広い表現が身につくように、様々な材料に触れさせる。</p> <p>○多様な発想の作品を紹介し、発想の幅がさらに広がるようにする。</p> <p>【創造的技術】</p> <p>○板書、図版、電子黒板などを活用し、制作工程を明記し視覚で確認できるようにする。</p> <p>○基本的な用具の使い方などの技能を習得できるように個別に支援する。</p> <p>○班で教え合う習慣を身につけるよう、協力するための声かけを行う。</p>	B	B
	言語活動	<p>【鑑賞】</p> <p>○自分のよいところに気づき、意欲的に伝えようとするが、自分の言葉でそれらを伝えることが難しい児童が多い。</p>	<p>【鑑賞】</p> <p>○製作の各段階で、交流の時間をとり、自分や他人のよさに気付くことができるように、計画的に鑑賞の機会を取り入れる。</p>	B
4年生	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○授業規律はしっかりとしている。関心・意欲が高く、どの題材にも興味をもって積極的に制作に取り組む児童が多い。</p> <p>【発想・構想】</p> <p>○発想力が豊かで、自分の思いを絵や形に表すことができる児童が多い。</p> <p>○自分のイメージを広げていったり、ふくらませたりすることが難しい児童がいる。</p> <p>【創造的技術】</p> <p>○道具や材料の使い方を正しく理解している児童が多いが、個別に助言や指導が必要とする児童もいるため配慮が必要である。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○関心・意欲ともに高い児童が多いので、今後もさらに向上できるように題材の選定や授業内容を工夫していきたい。</p> <p>【発想・構想】</p> <p>○幅広い表現が身につくように、様々な材料に触れさせる。</p> <p>○友達同士で発想のよさを感じる機会を増やし、よさを認めたり、児童の発言からヒントになる言葉やポイントとなる言葉を全体に伝えるなどしてイメージの広がりに結び付けていく。</p> <p>【創造的技術】</p> <p>○板書や図版、電子黒板などで制作工程を明記し視覚で確認できるようにする。</p> <p>○個別対応では1つ1つ段階を示し、少しずつ達成できるようにする。</p> <p>○班で学び合い、教え合う習慣は身につけてきている。引き続き協力するための声かけを行う。</p>	B	B
	言語活動	<p>【鑑賞】</p> <p>○自分のよいところに気づき、他者のよいところも積極的に見ようという気持ちがあるが、気付いたよさを自分の言葉で表現することが難しい児童がいる。</p>	<p>【鑑賞】</p> <p>○友達の作品を見る時間は積極的にいろいろな作品を見て、いいところをみつけるよう指導する。</p> <p>○言葉の表現が難しい児童には、よさを伝える言葉の例を提示したり、つぶやきを逃さないよう児童と一対一で関わるようにする。</p>	B

5年生	基礎的・基本的な知識・技能	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関心・意欲が高く積極的に制作に取り組んでいるが、一方で課題によっては表現したいことがなかなか見つけられずにいる児童もいる。 ○与えられた時間内に制作を終えることが難しい児童があるので、遅れてしまう児童への助言や個別指導が必要である。 <p>【発想・構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分なりに色々な発想を広げて制作することができる。 ○発想力が豊かで、思い思いの発想を絵や形に表すことができる児童が多いが、クラスによっては、自分からつくりたいものを発想できない児童がいる。 <p>【創造的な技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な道具や材料の使い方を理解しており、自分なりに工夫できるが個別の課題や助言を必要とする児童がいるので適切な指導が必要である。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関心・意欲が高い児童がよりよい表現を求めているように、また苦手な分野にも関心をもたせることができるように教材や授業計画を工夫する。 ○児童の制作に対する意欲を高めるために図工室の材料や用具の配置を工夫する。 ○制作が遅れがちな児童に関しては、進度を意識しながら製作することができるように例などを示して時間配分ができるようにする。 <p>【発想・構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな発想ができるよう、発想の方向性が異なる題材を設定し、毎時間工夫の例やよい発想の児童の紹介などをして「もっとこうしてみたい」という思いが出てくるようにする。 ○制作の初めと途中に、発想したものを友達との交流で深めたり広げたりすることができるように、班やクラス全体での交流場면을計画的に設ける。 <p>【創造的な技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な道具の使い方について、毎時間使い方を確認し、準備や片づけにおいても安全面を配慮する。 ○配慮を必要とする児童には、制作段階を短く区切り次に制作することをわかりやすく示すなど工夫して指導する。 	B	B
	言語活動	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自他の作品のよさを感じ取ろうという意識はあるが、具体的によさを記述する活動は苦手な児童がいる。 	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の終わりにふりかえりカードを記入し、自他のよさに気付かせる。 ○作品の相互鑑賞の時間を大切に、1人1人の作品の良いところを具体的に褒め、自信に繋げていきたい。 ○鑑賞カードの項目や記述についてのポイントを具体的に提示し、思いを言葉で表現できるように手立てを工夫する。 	B	B
6年生	基礎的・基本的な知識・技能	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体的に関心・意欲が高く、積極的に制作に取り組むが、一方で課題に興味をもてず集中力が長続きしない児童もいる。 <p>【発想・構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発想が豊かで自分なりのイメージをもって表現できる児童が多い一方で、見たことや感じたことから発想したことを作品に表現することが難しく、はじめの発想から表現が広がらないまま満足してしまう児童がいる。 <p>【創造的な技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道具や材料の使い方を自分なりに工夫できるが、個別に助言や指導を必要とする児童が数人いる。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体的に図工に関する興味・関心は高いが、好きな分野・苦手な分野に偏りがある児童がいる。苦手な分野にも関心をもたせることができるように教材や授業計画を工夫していきたい。 ○集中力が持続できるように、授業の導入、組み立て方や声かけを工夫する。 <p>【発想・構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○制作途中の作品を見合い、工夫している部分を自分の作品に取り入れて発想を広げていくことができるようにする。 ○対話しながら思いを引き出し、表したいものがより明確になるような支援を心がける。 <p>【創造的な技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な用具については正しく使うことが出来るよう引き続き指導するとともに発展的な使い方ができるように指導する。 ○個別に指導が必要な児童には道具に対しても苦手意識をもつことがないようにスモールステップで1つ1つの段階を確認しながら自信をもって制作がすすめられるようにする。 	B	B
	言語活動	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分のよいところに気付き、他者のよいところも積極的に見ようという気持ちがある。表現意図や特徴などを具体的に記述できる児童が多い。 	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元ごとにふりかえりカードに記入し、自他の作品のよさを感じ合う活動を行ってきた。今後は感じとったよさを伝え合う活動ができるようにしていきたい。 ○互いの表現のよさを認め合う鑑賞の雰囲気作りを継続していきたい。 	B	B